



2024年11月13日
宮崎県綾町
公益財団法人イオン環境財団

「綾町イオンの森」育樹活動を実施

宮崎県東諸県郡綾町（町長 松本俊二）と公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也
イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長）は、11月23日（土）、「綾町イオンの森」の育樹
活動を実施します。

日本最大規模の照葉樹林が広がる綾町は、2012年ユネスコエコパークに登録されました。
当財団は、2013年から3年間、綾中学校建設のために伐採された跡地を、本来の里山に再生す
るための植樹を実施しました。また日本ユネスコエコパークネットワークと連携協定を締結した
ことを契機に、2017年からは人と自然の共生を目指す里山づくりのため、累計2万本の植樹
を実施しました。

さらに、2022年からは、「綾町イオンの森」の利活用や、綾町の伝統文化を体験することを目的
に、植樹地のヤマモモの樹皮を利用した草木染めを実施しました。昨年からは、里山を育てる
「枝打ち」育樹活動にも取り組んでいます。

本年も、「枝打ち」、「下草刈り」を実施いたします。

綾町と当財団は、次代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐため、今後も連携し、里山づくり
をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日時 2024年11月23日（土・祝）10:00～15:00

場所 綾町イオンの森（綾町大字北俣2027番地1）

活動内容 育樹（枝打ち・下草刈り）

綾てるはドーム（綾町大字北俣445番地2）

環境教育（草木染）

参加者 180名

主催 綾町 公益財団法人イオン環境財団

協力 宮崎中央森林組合 イオン九州株式会社

出席者 綾町

町長

松本 俊二

（予定） 綾町議会

議長

松浦 光宏様

宮崎中央森林組合

代表理事組合長

壹岐 富美雄様

公益財団法人イオン環境財団

理事長

岡田 元也

イオン九州株式会社

社長

中川 伊正

以上



枝打ち



草木染

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動し、現在は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

■「植樹」事業

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、約1,268万本（2024年2月末現在）となります。

・九州での活動（綾町以外）

場所	時期	植樹本数	参加人数	目的
長崎県南島原市	2010年 ～2012年	55,500本	3,771名	南有馬町の無線送信所跡地を森に戻し、水源涵養林としての機能を取り戻す
大分県竹田市	2016年 ～2018年	23,300本	1,900名	伐採跡地の森林再生および災害防止機能の継続

■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成支援を行っています。2023年までの33年間で累計の支援は3,436団体、助成金額は31億946万円となりました。現在は、「里山 commons の再生」をテーマに、里山（里地・里川・里海・里湖）の保全と利活用を推進している団体を支援しています。

宮崎県の助成先団体数と助成金額合計（2019年～2022年）

17団体 6,510,000円

■「環境教育・共同研究」事業

様々な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しています。

大学連携では、早稲田大学、東京大学、東北大学、京都大学、千葉大学と地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートしました。

また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用との調和による持続可能な地域社会を目指し、教育や啓発活動で連携しています。

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人イオン環境財団 天野・降旗 TEL：043-212-6022